

農業



令和5年11月号
会誌 No. 1709

目次

巻頭言

二つの「豆の日」……………松尾 元 3

論壇

農業活動における人間圏と地球環境の共生・共存……………陽 捷行 4

農業懇話会

令和4年度食料・農業・農村白書について……………牧之瀬泰志 6

農事功績者座談会

大震災を乗り越えた地域と農業への思い……………佐々木 均 22
一大規模土地利用型農業と6次産業化の融合— 千賀子 28
現地指導者のコメント……………高橋晋太郎 30
意見交換 …………… 31

食を楽しむ

食は思いのバトンリレー……………森谷 典子 37

研究の最前線

バイオ炭の農業利用による温室効果ガス削減と
土壌物理性の改良……………亀山 幸司 38

農業・農村の現場から

山梨県における「4パーミル・イニシアチブ」の取り組み…國友 義博 48

世界の農業は今

- 炭素クレジットを取り巻く海外の情勢……………内藤 秀治 52
—農業分野を中心に。新たなゴールドラッシュは本当ですか?—

私の経営と志

- 富山市庵谷集落で水稻栽培……………渡辺 亮 58
—里山を守り、未来に引き継ぐ—

農家の気持ち

- 果樹農業における地球温暖化対策……………久津間紀道 60
—持続可能な農業の仲間を増やしたい—

農政情報

- …………… 61

- 編集部から …………… 61

- 大日本農会だより …………… 62

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真：シリーズ世界農業遺産

枯露柿（山梨県峡東地域）

峡東地域（山梨市、笛吹市、甲州市）は、農地の多くが扇状地にあり、その立地条件や多雨・湿潤な自然条件に適応できる作物としてブドウ・モモなどの落葉果樹の栽培が行われてきました。適地・適作により、扇状地の条件に適応し効率のかつ独特の土地利用を行うことで、世界トップレベルまで果実の高品質化・高付加価値化を進めることにより、収益性の高い農業経営を実現しています。長い歴史の中で、峡東地域の農家の知恵と工夫、努力により、小規模な家族経営の暮らしを安定的に支えることが可能な、優れた果樹農業システムが築き上げられました。そして2022年7月には「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」が世界農業遺産に認定されました。

約400年前に始まったといわれる「^{ころがき}枯露柿」づくりは、「^{こうしゅうひやくめ}甲州 百目」と呼ばれる峡東地域の在来品種の渋柿を原料として作られる干し柿で、収穫、皮むき、縄がけ、吊るし、粉出しなど、数多くの工程が伝統的な加工技術として継承されています。このほとんどは手作業で行われており、高級干し柿として全国的に知られています。一部はアジア地域など海外への輸出も行われ、その品質の高さは海外でも高く評価されています。

(写真および文：峡東地域世界農業遺産推進協議会事務局 甲州市役所農林振興課 三森 啓)